



やまふじ
山藤 陽子
(公明会)



普通救命講習会と傷病者への配慮について

問 講習テキストの説明写真の追加について。

部長 富士宮市消防本部で使用しているテキストは日本救急医療財団で発行しているものを使用しているため、手を加えて写真を載せることはできない。別にこちらで用意してペースメーカー、女性用の覆う写真、イラスト、それを別の形で一緒に配布する形を検討したい。

問 傷病者への配慮のために、AED収納ケースに三角巾を配備することはできるのか。

部長 三角巾、三角巾に限らず覆うような布も含めて収納することについて検討したが、ケースの中に入る余地がないということで、追加の資料、三角巾、覆う布のようなもの、併せて外づけで、どのような方法が取れるのか研究していきたい。



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)



除草機レンタル事業を実施する提案について

問 遊休農地の管理者の有無について。

部長 令和4年度の調査では、調査票が届かず所有者が確認できなかった件数は、404件のうち84件あり、把握の難しさを感じている。

問 耕作放棄地への苦情件数について。

部長 令和2年度110件、令和3年度79件、令和4年度135件、令和5年度は2月末現在146件の苦情が寄せられている。

問 JAと提携した自走式ハンマーナイフモアの貸出事業について。

部長 貸出事業は難しいと考える。

市長 JAとも相談し、富士宮市としてどれだけのことができるか、研究検討したいと思う。

療育支援センター「こあら」の利用状況と合理的配慮の義務化について

妊婦と乳幼児の災害時の命を守る防災対策について

問 妊婦、乳幼児がいる世帯の防災講座、防災グッズの展示コーナー、育児休暇中のパパの防災講座を行う予定はあるのか。

部長 現在行っています子育てサロン、幼児家庭教育学級、パパママ学級や離乳食教室での防災に対する啓発は継続して実施し、産前産後サポート事業も今後、防災啓発を実施していきたいと考えている。乳幼児用の防災グッズの展示については今月中に展示できるように現在、準備を進めている。子育てサロンなどで実施している健康教育の中で、今月から実際の防災グッズを紹介するとともに参加者と一緒に我が家の赤ちゃん防災グッズを考える機会を持っている。なお、パパの防災意識の向上を図る取組の1つとして、これから作成する「父親の育児参画応援冊子」の中に育児とともに、防災についても父母で見直してもらえページを設ける予定をしている。

問 「こあら」の利用状況について。

部長 「こあら」は、平成26年4月に開設し今年度で10年目となる。相談事業は延べ3750人、療育事業は延べ2万5008人の利用がある。

問 合理的配慮の提供が義務化されるが。

部長 事業者への啓発は、商工会議所などの団体を通じてチラシの配布などを行う。



富士宮市役所庁舎にEV充電スタンドを設置することについて

問 EV充電スタンド設置について。

部長 他市町において民間事業者との連携により設置している事例もある。先進事例を調査研究し、設置に向け庁内関係部署と協議を行い、検討する。

市長 前向きに検討していきたい。